



橋立海青学園
中川 昇一 さん

■ 新校長の声

本校は、「繋がり」を大切にしています。橋立地区だけでなく、市内全域から通える学校として、さまざまな繋がりを大切に、子ども達が通いたくなる、地域の人や保護者が通わせたい、教員が働きたいような学校を目指してまいります。生徒たち自ら考え行動し、多様な価値観を受け入れ、他を思いやり、共に未来を創る児童生徒の育成を目標に掲げています。学校の主役である子どもたちが、いきいきと活躍でき、健やかに成長できるよう、教員一同全力を尽くし教育を進めてまいります。

橋立小中学校が
義務教育学校となり
教育内容も充実して
再出発します

中1ギャップも
解消！

9年

8年

7年

6年

学びを社会に活かす 発展期

興味や好きを追求する

後期課程(中学校課程相当)

特色 03

社会課題解決

【学びと社会の繋がりを実感】



これまでの積み重ねを元に社会課題に目を向け、夢や想いの実現に繋がる創造的な活動を行います。そして1人ひとりの9年間の学びを締めくくります。



2 芸術・文化



3 キャリア・個人探究

【興味で選べる3つのコース】

〈テーマ例〉

あくまで例です。毎年子どもたちと考えます。

- 1 ロボット開発、ドローン、映像制作
- 2 新しい祭りの創造、食文化の研究
- 3 職業体験、調査&発表、資格取得



1 ものづくり・STEAM

〳 開校式の様子/



シンガーソングライター
天道 清貴 さん

〳 縁があつて、この自然豊かな学校でのびのびと元気溢れる子どもたちと出会い、音楽の授業、手話、マラソンと交流してきました。そのつながりから今回橋立海青学園の開校式イベントに参加させていただきました。〳 今持っている大きなエネルギーをそのまま持ち続け、青い海のように輝いて生きてほしい〳 そんな願いを込めて、歌をプレゼントしました。



前小学校PTA会長
氣屋村 豊 さん

より良い学校にしていくなため、これまで何度も検討会を開き、生徒や先生、地域の想いを尊重しながら、無事開校を迎えることができました。卒業し離れても、この橋立で過ごした時間や、思い出、景色を忘れることなく、いつまでも「戻れる場所」として子どもたちの心に残っていってほしいと思います。

「橋立海青学園」は
どんな学校なのか？

小塩町にある「橋立海青学園」は、海近くの丘の上に校舎を構え、校内は木の温もりが感じられ、落ち着いて過ごせる校舎となっています。ひとたび校舎の外に出れば、豊かな自然と共に、のびのび学習できる環境があり、教室では味わえない学びに溢れた学校です。

特色の1つとして、前後期制を取り入れており、前期課程の1年〜6年で小学校の学習内容、後期課程の7年〜9年で中学校の学習内容を学びます。

義務教育学校とは？

小学校から中学校までの9年間の義務教育を1人の校長のもと1つの組織で一貫して行う学校です。

4年生でも
リーダーになるよ

5年

4年

3年

2年

1年

9年間のカリキュラム

探究期

自分の興味や好きと出会う 発見期

前期課程(小学校課程相当)

特色 02

コース制



【とことん探究して好奇心を育む】

5〜7年生の「総合的な学習の時間」は3学年合同で行い、3つのコースを用意します。コースに沿って自分でテーマを決め、3年間じっくり活動に取り組みます。

特色 01

4・3・2制

【社会性やリーダーシップが育つ】



9年間で3つのグループに分ける4・3・2制を取り、行事などさまざまな機会グループごとに活動します。異学年交流が活発化して、これまでより多くの役割を経験します。

開校までの経緯

地域に寄り添った学園を目指し、生徒たちはもちろん保護者や地域住民、市教育委員会が一同に集まり、開校準備委員会を立ち上げました。子どもたちの関心や興味を湧くような教育課程や独自性を発揮し、特色があり魅力的な教育を創ることを目指し、何度も検討会を重ね意見を出し合いました。

地域の人、保護者の声



橋立地区公民館長
吉野 裕之 さん

学園がより魅力的になって、子どもたちが活躍できるようになり、それに伴って地域も活性化できたらいいなと思います。海青学園は、「みんなの学校」です。子どもたちや保護者、先生方や地域の住民たちも「みんなの一人」です。開校という節目と出会いを大切にして、新しい学校をみんなで盛り上げていきたいと思います。